通 論 門人 筆記 廿二日版權免許明治十二年五月 佐 中藏版

門人筆說

外科通論卷之三十五八四四八百五八夏八八 () 軟 1十月前 美二十 第四 一〇療法 纖 維腫軟 脂 A 产 甲纖維腫一名結 當中見小河芝秋皮八月門人具筆 并多布 骨腫○症 防腫〇解剖上檢查〇症狀及經 硬軟 組 發生部為常言於 性性 織鐵 作 佐藤進講義 纖纖 維維 狀 (療法) 骨腫(維 腫腫 3 東 ◎顯症 ◎療法 り構成セラル、 發展中多限 水石 秀 凌三年年其時 = % 场 頁天堂歲灰 症 者 過 设 記 總 テ

1305202299

稍 海 -疎り質ョリ成 之 ラ 鐵 4 丰曾 顯 生 而シテ其發生部八常二外皮ニアリ 浮腫狀 禾 道 詩 老二十 キ外皮,乳嘴唇=由テ権ハル、「少ナカ 性 スルドモ亦 微鏡:由 纖 維腫 中二生スル片八褐色,色素ラ見 嘴ラ見ル加之外皮ノ乳嘴ヲ具ヘサル 維腫 ヲ成シタル白キ柔軟組 十名 力左三其種 テ之ヲ檢スル井ハ外皮,如丰鬆 12 乳嘴体ラ見ルモノナリスマル 而シテ腫 該腫八餐腫中多發又心症三萬 ,表 類多區別又 面二八每常 織ニシテ性々 川ラ片清岸 其構造八 ス 兴 ラ

形心 十年通 倫一美二十 見ル 其表面 過多 性 ナン故 中甚夕慢徐 具 纖 ルモノ 又時 ラ フル 7 症 維 人不会 腫八 ア 十見 手非常 トシテ先 戸時トシテ 其他 教腫 ナルカ故三人之ヲ局處 70 做 通常弛緩 ナリ之手由テ 生 該腫 スモノアリ 本 五毛腺 天 り而 非 中 ナルフ 400 v 常一增 i 及七脂腺人增 F.A 血管 Ma 且ッ時 テ 常 P 抑モ 元来外皮,原質 th. 7 大スルニ至 發育 該 疼 而 トシテ 性,皮魯成 痛 腫 頁天を成反 ,發 ア同 ラ生 大スル 著シク 時 生 7 12 ス

川马雪龍市

毛髮 タタ 面 數多ラ 7 部 ク外 膧 及 トナ 百 " 雞 生ス 5 い多ク 皮 七色素 ラ 冠狀 大 二非 延 加入 ス 以 ァル部 長 唇 但シ多クハ テ ル 三四 = 發 常 數フルニ フツナカ 7 = 有 生 ノ成 時局 而 + 期 + シテ ス ス 生 12 1 n ス 形 非 半面 非 7 年 母 12 7 過 至 ラスか 常 火 常以 紦 班 多 E 三生 - 増 ナリ 者 + , ラ即 膧纖 カ ,丰 增之 さ アリ其 維 アリ ラ シ易 1 良 或八廣力蔓延 體 ラ メ性 スルニ 生 ス 先 中 即 i 他 スル 同 天二最 肝道 腫 女 千 之 子 至 辨 -部 7 狀 属 斑节 生 = ヺ E

常 リナ 發 . 同 1年鱼角一美二 全 時 癩 患 傳 ス 身 三次 成 播 ル + 古ノ ル 性 F 瘦 自 ス 給 局 モノ 名顏 3 者 削 血 省 1 贅 液 養 = 貌 7 ウ = 部 F 獅 由 * 調 腫 障 21 氏 做 真 真 テ ス 和 碍 テ子 始能 禹 稳一 斃 不 7 面了此 + 皮 相 雖 將 賴、 良 妥類 セ ラシテ結 ル、フ ノ夢 来 如 7 ス 7 ス 解 スル 得ル 呈 h. 稱 剖 延 P 雖 スヲ 柔 シ 的 性 時 以易 軟 節 リ人 且 1 構 肥 1 7 經 7 " 1 成 大 狀 年 過 纖 シテ之 夫 1) 且顏 脚陰 頂天堂處友 7 = - 妻 中 而 維 至 ナ 7 1 ツ面 時 經 腫 1 i 7 干 テ ル 7 罹 通 H 見下ツ E"

外和通識一卷二十

川马造浦

市

遂 所 1) 听 神 硬 2 - 論 性 死 7 國 = 經 癩 纖 自 症 誤 皮 = 病見 ス ル 3 ラ 膏 陥 維 國 謬 纖 腫 中 發 覺 别 11 精 ハ 4 , 12 皮 亞 ス 神過 肥 維 12 P 唐 7 1) ル 細 錯敏 大即チ 腫 - 甚 1 症 免 亞、 亂麻 即 アルウ 肥 千 力 + 7 1-學度 合 風土病 ×1)* 厚 V デ 4 ス 祥 併 = 類 ス 其 苒 ーゲン スル全 類 1 似 該 他 談 + 認 ~ ス 症= リ而 腫 ギリシャスクコーム + 而シテ人 ムル 支 身 7 雖 シテ諸 肉 雁 那 症 = 病 ヤ 至 眼 日 -性 12 只 木 癩 片 シ -1) 般 等 單 7 至 テ 邦本

結 岛 檢 時 白 面 十十旬前一多二 各 = 節 成 重 7 7 硬 ス 74 排 14 或 箇 層 檢 固 iv. 狀 故 井 ヲ成 テ 其 列 " ス , 7 正 淺 * 成 ル スルモ 軸 形 + シク 紅十 纖 其 12 井 圓 7 テ 1 続 其 性 カ 維 1 纖 質 渦分 其 1 切 1 12 圍 色 斷 常 7 緻 狀 維 又 3 ス 第七 一面 * 子 纖 宮 同ヲ 維 十一块 シ示腫 A III 生 スラ 閪 十其 割 セ 頁とき気気 小 サ 例 真 力 其

宮 贅 ラ 之 纖 1-タ 腫 丰 7 神 維 彩 鐵 生 見 即 知 7 力 膧 經 分 通 構 ス 4 維 之 11 チ 及 12 諦 之 月 7 之 ラ 益 成 腫 + ۲ 7 歳 スル + · 程二州 判 血 = アリ 管八、 單 組 歸 神 ハ 别 7 スル 純 組 織 經 固 經 此 スへ 或 時 織 學 D 1 ヨリ 纖 纖 中 二 丰 ,\ 上二 如 + 維 維 之 ヲ 著 困 力 シ 1 血 論 管 纖 テ 腫 腫 難 將 シ 1 17 消 鑑 スル 維 1-+ ナ 9 W 纖 他 亡 + 别 ル 如 1) 1 7 ス 維 井 繞 スへ ス 此 12 贅 然 **,**× P ル 中 圍 1111 シ 時 居 1) 丹堂 腫 7 区 ス 多 例 困 K 然 12 + 7 新 歸 澗 難 之 + 軸 子 K ス テ 即 彤 ル ス

自ラ異 精容二檢 令子宮二生之テ其 方 却 产 紡績 ナル ルマテ單 組織人量 形狀及性質等三至 ノ者ニ 水半通倫 · 美二 ナラスト 新 P 生 ナル リテハ般 純 一各少人シー 1 ス 者 雖 ノ者 ル 狀 所 1 八結 井 之 アル 細 7 = 故 第 面 り腫 子 + +-筋其 宫 胞大 圖 結 生 E セ i 百 頁とき版反 性プ 横 纖口 兩倍

纖 性 性# 组 筋纖 胞 テ學者各其所見 ラ 1 肉に 織 維 科 腫。 者アリ又此 多 腫べ諸 維 通 リス 沕 K ヲ筋ポ 7 + 胞 離 ス 發 1 名 1 化骨又 性 我人變質力 趣 ツ 卷二十 為 腫 見 カドへ 浸酱 キハショ紡績狀胞肉腫或 トナン式 ス スルモノナ 筋 力 ルフ 双化 i 纖 故二 異 維 ニスプアルシ 少 通常子宮鐵 石見 ハ之ラ筋性織 胞ョシテ 火等,變 ナ IJ カ 此 K ラス 紡 之 ラ 未 續 3 時 質限 維 狀 ウ氏 川州雪龍 局 維、 細 7 腫 八纖。 見性 熟 腫 胞 名 セ 液 維給 7 7 的

又良 膜 是 動 **卜**十直角一美二 腫ノ表 雖 纖 ス 脈 幸 脈 及上 維 此 ラ以 腫 クバ 面 二外外 管 ナル者 面面 静 如 八纖 組織 外 粘 牛潰瘍八 三潰瘍ョ テ試三色料ラ射入スルキハ無 膜 脈 八瘢 膜下二生スル者二多し其初メ粘 維 7 八其本質习鐵 八其外 腫 具フルラ證スへと而シテ此 刺 東ラ結フニ至ルフ 生スルフモホ火ナカ 良性,肉芽及化膿 戟 組織下路 ヲ受 觀血管二色シキ クルョ以テ 維 六 一合 腫ノ組 着 頂天堂戲灰 少十 織中二失 スル 誘 カ 7 呈 ラ 如 力 因 ラ ス

門界堂禮形

日 1 第 色 七十三 纖 腿 脈 維 -維 維 1 = 7 圖 皮 色 圖 注 注 皮 腫 腫 腫 其 料 真 1 膏 セ 7 静 海 動 11 生 注 脈 綿 脈 入 狀 セ



*

以而岸然鄉管著之空關中心于收縮又心性火 站上述,解剖的及器械的少作用三基力モノ 水子五 命一 美二十 一人 一个多クハ多量ニシテ且 術习要地班上小停止又处了十十分以三七六 はソニアリスが下ヤンブスラ造ル丁極又 超纖維種ョリ生スル出血 ルシテ其断中著シク開ロ 大大英且以之ヲ割切スル スルラ常トス是レ即 も脉管收縮 スルラ得ス 頂人管處反

女科通 講一卷二十 門海強體筋

纖維腫ヲ發シ易キ局部多シト雖就中子宮二生 ル者、常二甚シク増大之或ハ石灰二化スル丁 スルラ居多ナリトスへと強 物七液ラ充 及上骨膜纖 液ラ充ツル頭大厂腔洞ョ其中二發見スルコ 實驗二據レハ大ナル子宮纖維腫二於テハ物 ナリトス其他時トレテ大ナル子宮纖維連 性=横張セレナラン又ズマンセル、空ル氏 ツル者アリ是益ン新生やレ淋巴實 維腫=空隙ョ造り其内=稀薄ナル 高 大大學十九里十個 腫筋 該 部二生ス

Q 向フ即チ上方二向フトキハ腹腔内ニアリテ漸 1ナシトス其發生スル方向,上方或,下方 ヲ常トス 周圍組織ョリ分堺セラル殊二子宮體二生スル 少十 而レテ著や井出血ラ生スルファリ此 水斗直角 · 美三十 腹膜 見ハル、ファリ然ルキハ並ヲ具へテ延長 維 随り継維性子宮ポリープト云 カラス而シテ其形通常関クシテ著シク其 腫八骨膜ョリ生スル丁多し而シテ毎常 ラ横張之或ハ下方二向フ井八遂二胜 頸三生スルハ稀ナリ子宮唇三生 頂にどし成反 ス 爐 12

女 孫 邁 藩 一卷二十

事稱彌彌

脉

內多 首受 維 シ 構 性 迎= 延 前 = 該 肉 成 キハ ス ス 1) 由 咽听 部 膧 云維 12 セ 該 頭益 テク 喉調が織 ラル 向ッテ鼻孔内三覧入シ ョリポリーア性教腫 性 7 + 11 腫 多 頭益骨及顏 三述 八海 骨内或 り維 ī 但 詳言スレハ纖 殊 シ紡 1 性 プ臭 接 面 -蝴 績胞 談腫 狀 ス ハハ ヲ成 N 蝶骨ノ下 面骨一骨膜 イ 組 漸 ヲ多シ 織 モ シタル R 維 14 吸收 + + 增 胞 且 洞 面 大 1 及 静 消亡 1) y 中二電入ス 久 二多 一八纖 ス E 咽 テ 脈 12 紡 後鼻孔 喉 發 高 セ 中 ラ キ 维 ス 胞 而 種 1

ス其他 シ易ら加之骨二生スルファリ 幹二生スル モノナリ又纖維腫、脛骨及上鎖骨,骨膜二生 ノ細大ヲ撰ハス神 神經腫 ラス總 論スレハ自ラ之 經二生スル 生スルフ以ナカラ 十月 前一大二十 纖 十名 テ 此,如 維腫、神 1 火 新 クル者 生物ョ 下别 ク ナカ 神 經 經 アリト 7 第七十四 神子 1) 經力 雖 トス此二 ホ 係 性, 1) 解 ル 九 纖。 例之上顎骨 剖上二就テ 圖 維山 氏 論 腫 頂、足之感反 實 スルモ 2 7

外科 多力神經幹习傳力方 腌 ラル、モノナ 神經纖維ョ,構成 經腫ナルモノ 維 部或八全ク新生セル 八神經幹二生スル織 夫レ神 腫即千纖維性內腫 Ŧ 範 部 經纖維腫八 ナリ * 地门车 八其 17 真ノ神 神真 經性 セ 第 と

大

同

肉

性

神

經

腫

其

結

節

狀

纖

維

之ョ生 い而いう其形結節ョ成スモノナリ而,

五 圖 協

男

児

眼

臉

生

+

纖 纖維腫ハ妙年ノ者三發スルフ以ナカラス然 外八服 該腫,性質及七切新面等,之月七十一圖二示 スモノト一様ナルモノナリ纖維腫八皮下蜂窩 **水斗通** 输 人类二十 维腫,發生八殊二中年,者二多シトス妙 二生スルフ太タ稀ナリ 二於テス總 ニハ繊 1 以ナン又高年ノ者ニハ妙年ノ者 發 ス只織 スルハ 維腫 維性神 テ纖維 極メ タ生スル 7絶へテナモト ラ稀ナリ多クハ可婚 經腫及上骨織 腫の男子二比スレハ女 而之方乳 除り除クノ 頂戶堂處反 維 腫骨膜 3

剔 同 局 而 ニタタシ 部二數 後 滩 戸 博 テ博 周 膜纖 テ織 年 紀二生人 藩 筋 圍 而 ヲ經 門 箇生スル 播 維 播 維腫八其中心 ē ル 性 組 ,性 **テ子宮繼** 水 腫ハ同 織 トキ 但也 脈腺等 纖 ナルモノ ヲ具 1 浸浴シテ トキハ豆二連着 時 同 時 ヘサルラ常トス 再 維 二數多习 ョリ發育 アリ北 一數 腫八三十五 維 スル 漸 性變質 多ラ生 生 次 如り織 増大し之 セ 7 **豐深潮灩** 1) ス スル 乃 遂二 然 至 ル其 7 凹 Æ 樹

ルヲ常トス 生スルモノアリ 單純八鐵 發 期三於テ者シク其發育ラ廢シ而シテ石 **水斗通倫 则长三下** 生スル 子宮纖 而シテ真 テハ時 1) 州 維 モノトス繊維 維 「多心故二同時二二十ョリ三十箇 X トレテ其發育ヲ發止スルフ 腫ノ如キニアリテハ月經發上ノ時 腫ハ總テ其發育慢除ナリ又老人二 女口 肉 井傳播性ノモノハ纖 而シテ同シ神經ノ區 腫 下月歌題多精 ツ如少肺三轉 性神經 腫 深 英 八同時三數 移 頂にをある 检查 域 スル 維性 アリ 灰三化 生 肉 SA ヺ 腫 ス

けハ細 生 鑑定ハ右三述フル諸 併發スルフッ 原 雖 發セン贅腫ハ即チ若シク纖維人性 モノナリ其外他 瓣 胞多キサルコームト一様ナルラ證 +局部年数近接スル組織下合 剔出 ヲ生 アラ 後再發之或八他 スルフ スト ナカラス Z アリ該 在ヲ参考スル片 即手養腫,性 ノ教腫殊ニサルコーマ 此 腫ラ精 ノ如キモ 部二傳播シテ第 十五 シク検 質 1 -)JIII 着スル 1 河 道 讀 軟即 困 質ヲ 查 P 難 明 ス 1) 具 11 片列 ス

織 法 三結繁術ラ施コセリ即チ一線糸ラ以テ緊シク 教腫,並ヲ結紮ン以テ血 **外**斗 通 綸 割 ヲ要 腫 及上形狀等可詳力一也八鑑識习誤マル丁 ル目的ナリ此療法ハ殊二カヲ用フルニ由 ラレテ壊死三階ラレメ結於部ョリ 除スヘント雖蓝ヲ具人或八延長せい結組 別出術ノ外他二療法ナシ平常カラ以テ之 及上纖 セサル可カラス即千往時八此人如丰在 播致并各人多知此所中為并五至家用 維性ポリープ等ニアリテハ他ノ療 大卷二十 液ノ 十二 運行ラ阻 頁天堂處反 脱 絶シ教

結繁ヲ施ス丁大二因 般ナリト雖 新法方十八何以中即手括斷及上燒新行是十 二八轮 方三傳播シテ各人ノ ス者 面 近三至 ヨリ オ 稀ナリ 、腫ョ除去スルニ出 ルホルムラ發 出 近其器械及に法方ラ大三一新セリ リテハ却テ効 血 一种 , 殊二臭腔 述フルモ益 恐 アル者三施コスナリ 難 知ル所下為ルニ至レ 明セン以来其術普 火ナク害多キ以 及と咽喉内ニア ナリ之ニ 血ノ恐 ナケレハ贅 用フル器 ナキヲ 門無端禮 1) テ 然 セス抑 要ス 2 9 子ク テハ 殊 1) 干 片碗

外科通

部灣

械 十十重 ラマ 總テ 由 火ナルン カロ 此 而シラ其 面二八著 テ 之 器 トキハ 教腫 挫 ク 械 治 其 綸 ラ たスル 由于遊り見られ 創公出 大サ 理ラ ヲ括 セ 括 シーキ 創 一元二十 撓骨 斷 B 面 中常 壞死 心不去 断スルファ 推シテンヤセンヤック氏八器 平滑二山方 后 血スルナナク或人出 創 動 1 1% 脈 面 2 4 狀ラ 鏈 状タナンダル 如 ′′器 教種 ?徐文二 發 滴 既械 工工 創 并 十三 セス =/ E , 明 緣 出 セリ即 之功 血ラ見 鋭 良 ヲ能 頁戶意義 利 血 血 順及 ナリ 性 スルフ グル 鐵 美 天其 1 # 堂特 ル 肉 且 括 條 談 反 器 約 7 械 t 1

サッツの之君正久ラセウル六比るいい試 オルモノ 名人外八各醫之习左右二供スへキノ品二ア y 燒 之ヲ ドルフ氏ノ電 由 沙沙功 切ス 購 腫 白 合考入人,持右,療法二亞力 求スル容 12 金 用ト一様ナリ且ツ同時二止血 + ヲ切 4 + 1 線 只 除 電氣 出 詼 氣燒 セントスル 器 易ナラ 血八甚夕 械 灼 ヲ通セシメ 八其裝置複 法 H トナス即 ルョ以テ病 稀 部二於方枯 ニシテア 通 雜 A工 チ「ガ 王 一 スルニ 術 約シ 院 ク 12 テ ラ 除 且 至 E t

通

MILL

现

羅灩

份额

損 織 スルモノ大二以ナキョ覺工亦理ナキニアラ ラ施コスニ急ナルコ 勿し其他最初ヨリ手術 發育慢徐十九刀將夕老年二至川方其發育機 命三害,及水入八十月疑プト十八先少該腫 施コレ得への或八施コサ、ル可カラナル者甚 七十 鱼角 一卷二 害スル恐上ナキ者ニアリテ手術稍患者、生 維腫人發生部及之其大小等习察之一生命 リテハ時トンテ外科術の施シ難 維腫人並ラ具ヘサルモノ或ハ深在スル省二 スルカラ明察セサル可カラス必及輕々手術 十四 頂灰色歲反 キファ 又

腔 疼痛可發心患者之二堪力夕力加之遂二麻 一、筋 来り 十 然 天疼痛++者二手術 初メタリ手術 サルナリ又強 三電入セントスル景流アル織 シ 殊二潰瘍二陥ヰリシ 或 ~ 骨 × 1 大馬沙 作 神 用 二危 7 經 ノ患部ラ截 大手 中衛上於理十年 障碍スルキ至ルラ以テ此り 7 維 險, 性 施コン危急ョ教 神 經 損害ラ 腫ハ時トシラ 部ョ 除七世少可 及 1) 为施又八益十 維 ホシ ハサ 著シク及 腫ニア mill 兩端端 或 康] ハ頭 ル 力 痺 1) 可 復 如 + テ 7 力 片粉

和 通 論 一

脂 然、 人八素質品脂肪习產出之易十一種八素質アリ 市部部 テ 牐 五 肪ラ最 レモ之ヲシテ病 筋骨习券役 九ノー 期 斗鱼 三係 中 肪 十八間ニシテ切稚八輩ニハ稀 て 脂 1 命是於二十 財多多 脂肪腫其二語思以為與嚴其由于各 北トテスへキナリ 産 ルルフアルへシト雖常三暖衣飽 モ多ク産出し易丰年数八野子三十五 出上易井八右三述フルカ如り人 セ ス且ツ所謂粘 ク産スルハ是レ給養ノ宜 性 ノ素 質トナ 抑モ健康第二於 十五 液質ナル者 みに ナリア 頂矢是處反 及ハス却 北 總 テ 法

脂 = 堆 躰 所ナシ即 肪 積 タ軍ニテンテ皮 ナサンルヲ得 中 用 肪 瘤 防ヲ充實又故 了非 ノ産 何 7 スルキハ ヲ組 妨 , 常 部 出ヲ助クルニ似タリ クル時 并結 織 ラ -即 解 操 ì テ 組 剖 ハス一小部二限局シテ 十 千 之 # 疾 12 織 下 上二 2 ヲ 2カ 脂 蜂 1 † 高織 脂 就 病, 網 4 肪ハ結 為二一局 少件 狀ヲ成こ ァ 肪 論 名 瘤 ノ脂 組 十名 ヲ下 岩 スル井八其 織 肪 部 ī タル 組 ケーノ疾 ス 脂 二由 或 川川 織 "全 肪 脂 テ 網 ヲ産 1 各 構 或 身 眼 異 肪 區 病 ナ 造 7 出 ,, 成粉

褲

羅證

グ質堅 織ノ發 脂 瘤 歷 る劃 按 肪 十五角 種 E. 瘤 スレハ セラ 勒 1 結 7 生三多少 辨 故 ナック 單 外 如 組 7 が新 老二十 截 脂 成 脂 織 形 小多是 若 八通常 肪 スラウエル者 防小結組 除 -元其 7 由 瘤 E スルニ當 シナツ但 テ其 り其 + ラ以テ甲 發 名 圓 織一由 發 Pi 隣 生 ツク 製り 僅 生 接 スル ナリ 且 20 テ 少 網 テ區 ッチラ 狀 利 種十 組 而 ヲ成 離 51 織 シテ 頂天堂處 易シ 以 セル結 セ 3 テンフ 1 其 ラ 脂 5 12 並 肪 周 圍 瘤 組

其 脂 疼 脂 脂 痛 而 肪 非 大小一十 肪 而 肪 瘤 常 1 シ 瘤 區 り發 + テ テ 十 劃 1 ス -7 瘤 7 發 脂 發 軀 生 シ 常 7 ラ 生 生 肪 幹 難 濶 被 トス ス 7 = ス + 大 甚 集 ル 1 生 7 迎 を神 知 が ラー 雖 ì 部 4 積 7 ス ,皮 緩慢 テ 極 1) 12 局い多 スル 2 7 他 曹 八壓 テ腫 最 + 7 1 八瘤 P ‡ i 1 近接 クハ皮 F 多 太 "或 而 7 7 例ハ i ス ス 腫 外裂 雖 F テ 11111 12 1 大 其 蜂 + 損 極 ス 組 羅, 性 高 發 腱 織 生 7 テ 鞘 織 具

稀

尼湖

JE.

7

中

テ皮 四 ラテ 脂 軟 脂 テ緊 肢 脂 肪 肪 12 心繊維 庸 瘤 肪 通 大三易 張 生 綸 瘤 發 人 發 ゲ 產 出出 其 時 人卷二十 腫 生 中一流性了 易 他 固 v 光ッ 芝ァ 桜葵 日勿 稀 易 着 + 部 腫 テ + + セ + 褐 スル 绵竹物 躰 局 1) 性 八腹 質 性ル 1 色三變又 質 又 合 テ 又年 静 10 同 ハ右三述へシ 時=數 併 脊、 ーム」及と 動 脈 十七 数 i 移 腫 頭 あるる 九件 与併 發 スルラ常 -顏 多讠 ス 順 多 F 例 水 天堂戲 + 發 脂 1 如 ス 脈 之 ス " ス 肪 ク 線 柔 瘤 總 腫 而 i ス

結組 鑑 # 7 ル E 他發生人 皮下三知覺スヘン又一 定八大二易シ先ッ之ヲ按模スレハ其 部局等ヲ参考スル井ハ多クハ診次シ 織 軟 熨 + 1) 生スル 由 1) 然 ノハ局 緩慢 1) 且 レド " 各區二分 強力 多 處ノ歴 ナルト患者,年 7 カハ發生 指 1) 割セラレテ 迫摩 頭 脂 種/摩軋 ニテ麗スレハ脂 肪 瘤 擦或い遺傳 - 1 源ラ 發生ノ 盛 岩クハ 知儿 辨 7 狀 誘 質 可 因 ナ 肪 29 由 カ ラ ス 7 ル

軟骨 療 構 躰 骨 -質多 法 種 成 E ハ戦 他 腫 + 七 道 倫 ク ム海 軟 丙 17 v 骨 軟門門 即 除 然 善 瘤 綿 腫 千 良 V 軟 腫!, 者 性 7 骨 子学様 良 血 顯 + 是 1 Æ 時 管 外 性 微 ル + 3 術 y 腫 鏡 軟 7 = + 1-構成 柳 由 骨 等 + 12 i ニテ IV v テ 1 = E 柔 豫 病 者 セ 誤 檢 T 纖 ラルト 軟 查 ラ + 後八大松善 性 マリ 1) 維 + ス 新 ル纖 日勿 性 i 頁天堂成 生 12 者 物 軟 テ患者 + 骨 維 良 腫 v 7 3 1) + テ



十斗五角一颗紫三十 テ平 如力無色透 リテ 常 細 八 硝子樣胞 胞 近明八質 間二見 7 間 ハル、 細 骨 テ 時 具ブルハ甚 ナルノラ 此 質、健全軟 者二 圓 胞, 或 細 トレテ 硝 1 形ノ 胞 十九 分 形狀一樣 肋 同 子樣質 軟骨 甚 胎 而 i 軟 骨二 シテ 3 骨 児 但 頂天堂或及 夕美 1 胞ラ 稀 , 少シク 間即 見心 軟骨 關 胞 彩 質千 ナラ 節 見 y 間 胞 質 哥 而 腫 1) 軟 ス 12

軟 割 只 據 網 7 多 細 如 血 狀 見 血 組 ル 織 即 細 繼 顯 7 ル 成 軟 軟 驴 7 7 胞 維 骨 骨 具 異 鏡 ス 以 腫 腫 生 化 包 + + -1 組 サ 12 見 1) 圍 照 ス ス 所 胞 織 又 12 ル 12 12 ī ス 間 是 肉 或 井 E E 質 健 胞 1 H 眼 " 1 i 11 間 其 軟 1 結 樣硝 全 + 4 哥 軟 健 質 7 由 間 1 組 骨 其 全 腫 織 是 体 テ 7 + 12 纖 他 軟 組 組 之 緞 質 織 顯 骨 織 維 横 軟 **>**\ 沙川川 纖 微 見 骨 組 カツ * 1 1 = 異 鏡 織 健 維 又 經 腫 ル 檢 全 中 端 維 井 セ 7 交 多 七刀 南鄉 ス

質力 ル者 化骨尹生 過 頭 正 軟 形 十十五 骨 狀 十三物八万汉時 P 失 腫 = 至 中海 漸 かか 1 リ又時 -命一类二十 スルイ 堺 従 大 外 リテハ 外二 ラ スル アルモノ 形 ヒセニ近 料 トレテ 冰 7 平常 甚 膠質 向ツテ増 未 ナカラス 夕諸 アリ其 接 軟骨ノ石 或 ナリ而シテ時 シテ軟 圓 八破碎シ 般 スル 形ニシテ結 ナルモノ 大スト 發育スルヤ最 骨平常 而シテ軟 周 一十 灰變質或,真 圍 易 雖 7 節 + キ質 ノ堅 F 頂灰監藏灰 組 時 骨細 ") シテ大 織 トシテ 狀 靱 二變 7 同 初 病 ス 胞 + 中

馬ョ生ス 骨等是 機 他大ナル軟骨腫ニアリテハ時 雅 ルニ至 中二粘液性囊腫ヲ造リ之二由テ最 シモノ變シテ柔軟 酸止スル 而シテ經過中諸 即 1) ナリ軟骨腫 千 ルモラ 例 軟 骨二變 之,糜粥 アリ 1 7 ナリ又 1) 殊二腫上,皮膏緊張スル井 二 レ 然 様或八粘 般 议 トナリ且ツ波 軟骨腫 膠樣變質 ,解 レ E テ 周 稀有人者三為人 剖的變質 圍 十分于表面二滑 化骨シテ其發 膠樣變質或, 3 ラ生 9 動 塘 アルラ連 ラ紫 初 スル 大 硬 ス 固 井 7 12 12

軟骨 K ク ス 生スルラ常トス 贈骨トス此 十十五角一人是二十 生と易と外傷或八他ノ外来刺戟之力源 發 腕 ルフ 7 前骨トナス 生シ易 膧 ナキニ至 稀 1) ア ラ生シ易キ組織 1) 又中心二軟化习生之外 ナリ手ニア キモノ 部 12 二於テハ 足 加之時トレテ全指 ラ骨 ニアリテハ此ノ 7 7 リテハ ヲ論 非 トナス可シ 手三亞ク 常三増大スルモ 軟骨腫 スル井の其最モ多 干 部一向 者 殊 如 頁天堂或反 之二般 八同時 ラ大腿骨及 + = テ破 指 骨二生 骨及 二多 1 ラ 開 ナ +

第七十七圖 指= 易心外衛我不住不外未刺我之口治 生セシ 軟骨腫

三声強強

發見 頭益骨ニハショ生スルリ大三稀 リ而シテ時 殊 - 腺 十十五角 新鞘 骨及 テ全つ骨質ラ變セシムル三至ル顔面骨或 癌 7 中,各所二軟骨ラ發見スルフ スルファリ或ハ時トレテサルコーム ニハショ生スルフ甚多稀ナリ 肋骨ニアリテル發生スルー 双牙論 例之睪丸卵巢乳腺盛 婚 11, 1915 トシテ十全發育セシ スレハ軟骨腫ハ火肚ノ者 期二少シク先タチ 腺ニ生スルモ 主 單純 ナリ而シテ肩 テ生 其 稍 アリ 頁戶色鼓反 多心 ノ軟骨 他 ス童子 生生 軟 1 組

リテ之ヲ遺傳スル者アルヲ實驗セリ右 轉移心患者习死二陷 廢シテ増 ス大さべた氏ハー 慢徐ナルモノトス故二二十乃至三十年ノ久 生 傷 ニレテ且 7 軟骨瘤マンボリー」 經 三由テ發スルフ 大セサルフ 過 稀 スルモノナリ ツ傳播性ラ具 ナリ面シテ軟骨腫ハ衝 種 アリ又時ト 軟骨腫 丰 ラシ アリ其 作 而シテ時々其發育 ヲ生 ムル 用ニ由テンラ フルモノアリ 發 シ日勿 7 シテ其發 生スルヤ非常 + +素質 + 突打撲等 日述 = 肺 古月 例 P 7 ラ

鑑 内 膧 キハ暁 及蜂窩狀癌, E 十十通倫 囊腫樣 = 變化七少者 = 粘 定及と豫後い右三論スル諸症ラ参考スル 皮 軟骨腫サルコーム及と腺腫腺癌 ジテナリ故二其本 如少軟骨 胞 リ易 或 、 結 即并發後八平常軟骨腫, アラ シ性 ス 美二二 名ラ命シタリ 腫 內 300 并 組 織 時,軟骨腫, 八米 腫或い癌ョ合併レ生 性ノアルーテラ 膠様 - 變 如 膠性潰瘍粘膠性 二十三 軟 何トナレハ 質 化 如り善 詳 中二 セシモ 頁人岂成反 スル 力 存 良 7 ニセ 纖 多 , スル スル 或 癌 維 1 丰

術ラ苑 療法 開節ョリ 又 在時人,名命セル者,穩安ナラサルラ 大腿 二大 足 一大 願 切 + 施 7 微 以テ之ヲ鑑 除桁 離断セサルラ得サルラ 術ノ為メ危 i 12 鏡 得 軟骨腫ラ生スル者ノ ナル 檢 ヲ施 へキモ 查 軟骨腫 - 據 識 7 殿ラ ス 1 り或、變質ノ性 セサル可力 ,外 ヲ生 = P 招 スル 他 ラ ク 一 恐 4 以テ危 カ 如 12 + ラ 論 一九口 ナシ + ス キハ 丰 狀 7 狱 E 侠 險 固 抑 證 等 E 12 亦 7 E 1 = 3 件 ス 股 ") 髖 P ス 明

12

中テ之ラ截 縱 少八十り指:手行,施コス二八腫上,皮唇ラ 生又ル井小患者之为為一著力其運營ラ障碍ス コス丁多ルトス是南疼痛ナキノミナラス指 骨腫骨ノ髓管コリ發育スルモノニアリテ 十年 百分 一次二十 生スル骨ラ截除セサルラ得サル者ナリス 割ら然れ後 ラシムルヲ要ス然レド多クい養腫 其 指二生スル軟骨腫ラ以テ最モ手術ラ苑 部ラ全ク截 除又但心腱 勤ニテ創縁ラ披キ刀或,路 除スルニア ラ側方二轉移ン毀傷 二十回 ラ # レハ十全ナ 頁之色或反 1共三之 軟 用 固

由 坳 己二丁得不每常指人關節離斷術力施力 ナリ ノナリトス然レモ未タ之ラ證明スへキ實験 炎ヲ起シ之二由テ指二强 ンバック、氏ノ實驗=據レハ手術ノ際軟骨ノ残 可ラサレハナリー外科通論卷之二十終 ラ効 右三輪スルガラ以テスレハ手桁ラ施レ之二 アルモ ス 孙 何 ラ奏シ得へき者か只軟骨腫ノ小ナル者 ,如如 漸々化骨シテ發 トナレい甚の増大セル者 キ症ニアリテハ時トン 育セスシテ治スル 剛ラ遺スコ ニアリテ テ 腱鞘二剔 アリ サ、 餘 + F

右同所 發光書林 迷人 佐藤 馬食町一日五番地 進

夢島五丁目十三番地東京第四大區四小區

出版人佐藤

尚

